

幼児文化芸術

「人々を魅了する第九」

「少女がリコーダーを吹いたら凄く演奏が始まった」というYouTuberを観ました。それはドイツのニルンベルクの街角で一人の少女がコントラバス奏者の前でリコーダーを吹くところから始まり、すると次々と演奏者が集まり、素晴らしい大合奏が繰り広げられるというわゆるフラッシュモブ（公共の場に集まり前触れ無く突如として演奏などをする事）です。「突然何が始まった？」と足を止めた街の多くの人が集まって次第に大きな輪になり、撮影する者や演奏といっしょに歌い出す者もいます。最後は観衆による大合唱と大きな拍手で終わるという内容です。

この動画で感じたことは、フラッシュモブというサブライズ性もさることながら、やはり曲がベートーベンの「第九」だからこそ多くの観衆は参加したということです。そして、演奏に合わせて多くの人が楽しそうに歌う姿は見ていて壮観で感動的でもあります。

幼児文化芸術協会加盟園の子どもたちは、「希望の歌」を通して「第九」を知り、覚えて歌います。この体験や活動を通して、子どもたちの頭に、心に、体に「第九」が染みこんでいくのでしょうか。

今までのようにあったように、ベートーベンの「第九」はこれからも多くの人々に歌い継がれていく楽曲でしょう。現にテレビのCMにもよく使われているくらいですから。

名古屋西幼稚園 園長 八幡 憲治

2019年11月吉日
第19号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

栄光八事幼稚園(天白区)
小幡あさひ幼稚園(守山区)
志だみ幼稚園(守山区)
とみよし幼稚園(愛西市)
名古屋西幼稚園(西区)
鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
美里幼稚園(豊田市)
※50音順

とみよし幼稚園

ヨガ体験

「えー、何だろう?」と、子ども達の声はホールに響きました。いつもなら、楽器やドレスを着た講師の先生などが目に入りますが、今日は身軽な服装の先生がいるだけです。間隔をあけて並び、挨拶を済ませても、何が始まるのだろうかという表情は変わりません。

ところが講師の先生の動きを目にするなり、ちょっと硬かった表情がたちまち笑顔になり、「わー」「あはは」と笑い声が響きます。

私たち教師も初めは、「ヨガ?子ども達は楽しめるのかなあ」と少々心配していましたが、いざ始めてみますとそんな心配はどこかに行ってしまうました。

片足で立つ、四つん這いで片手を伸ばす、足の指で新聞紙をつかむ、と言った楽しい動きは子ども達だけで無く、担任教師も満面の笑みです。楽しく身体を動かしましたが、一番の笑い声は、仰向けに寝て、手足をバタバタさせる動きでした。

『ヨガ』って難しいものではなく楽しいものなのだ、教師にとっても新しい発見をした一日でした。



美里幼稚園

抹茶体験

七月八日に、親子で「抹茶体験」を行いました。講師は若杉宗佳先生です。まず初めに、講師の方に抹茶の飲み方等の作法を教えて頂き手本を見せて頂きました。

着物を着た先生の動きやお茶をたてる様子を見て、普段感じることのない厳かな雰囲気にも子ども達は緊張しながらも真剣な目で見ていました。次に、実際に体験を行いました。



会員園トピックス

初めての抹茶の味に「美味しい」と感じる子どももいましたが、苦さに驚き、顔をしかめている子どももいました。

親子で抹茶とお菓子を食べ、楽しい雰囲気の中で素敵な体験を行うことができました。日本の伝統文化を知り、興味を広げていく良い機会になりました。



Information

第8回 幼児文化芸術祭

日時: 2020年3月22日(日) 午前11:15~12:15
場所: 愛・地球博記念公園 (E1)ホール内体育館
内容: 「親子舞踏会」「第九コンサート」出演



第7回夏季保育者研修会開催!

各分野の講師の方をお招きし文化芸術7の活動を体験しました。

- *『えるファイル~エンディングノート~』講座~三浦 靖広 先生~
- *『歌っているから幸せになれる』歌唱指導~豊田 かおり先生~
- *『心と体をリフレッシュ』ヨガ体験~西村 和子 先生~

